

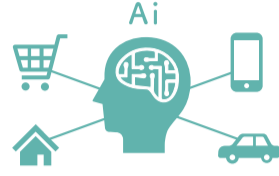
技術のギモン

さまざまな疑問を通して、AIMSの活動を紹介。

(第1回) そもそも「Ai」とは？

近頃よく耳にするAi(エーアイ)。コンピュータが情報を人間のように学習して理解する仕組みの総称で、日本語で「人工知能」と表現されます。たとえば、大手通販サイトにアクセスすると購入履歴や閲覧履歴から「おすすめの商品」が表示されることがよくあります。これは膨大な商品の購入データをAiが学習し、その人に合った情報を選択して提供しているのです。複数のAiの能力を組み合わせることもできるので、『スマートフォンに「体調が悪い」と言えばAiが体調を判断し、病院の予約や移動手段の確保を進めてくれる』ということも近い未来の話ではないかもしれませんね。

AIMSが開発しているAi電子瞳孔計「AiLive(アイライブ)」は、Aiが瞳孔の動きや反応を読み取り、健康状態を可視化させるシステムです。このデータを基に、健康状態の変化を早期に気づき、改善を促すことができるようなサービスを展開していきます。



● 発行によせて

東日本大震災から10年目となる2021年、私たちAIMSは緑あつて開発拠点をここ福島県田村市に設立しました。私たちの源泉技術であるAi(人工知能)を応用した開発には、地元産業や行政のサポート、そして市民の皆様との協働が不可欠です。「地元の皆様」と縁を持つ方法に悩み、模索する中で生まれたのが、この広報誌「AiBe」です。この福島弁「あいべ(行こう!)」と同じコトバには、AIMSの社名にも使われている【Ai】と、一人ひとりが異なる自分らしい『健幸』のカタチ【Be】の二つを掛け合わせ、田村市を中心とした福島の方々と一緒に歩みたいという思いをその名に込めました。今回特集した「足湯」のワークショップでは、新しい縁に恵まれました。今後も様々な縁を紡ぎながら、田村市を拠点に「健幸の復興」を後押ししたいと願うAIMSの足跡をお伝えします。



アイベ
福島弁で「行こう!」

- 発行元 / 株式会社AIMS [開発拠点] 〒963-4313 福島県田村市船引町石森字館108番地 [本社] 〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町2丁目4番4号 HORIBIL2F
- 企画・編集 / 仙台印刷工業団地協同組合
- デザイン / (株)いろはデザイン
- 取材・文 / 五十嵐秋音(マデニヤル)
- 撮影 / 卯月宏典



本冊子は令和3年度復興庁専門家主導型支援事業の支援により発行しております。

健
探 幸 自
す を 分
旅 らし
い



アイベ
- Vol.1 -

けんこう
健幸を
探す、
旅人たち。
Health & Happiness



仕事に家事、せわしない日々の中、あなたは自分のどのような状態が「健康で幸せ」だと感じますか？田村市に関わる人を「旅人」に例え、その人オリジナルの「健幸(健康で幸せ)」への路を聞きます。

よりよい未来を選ぶため、
1人ひとりの健幸指標を世界へ届ける。

株式会社AIMS 代表取締役社長 川又 尋美

健幸の変化に気づきやすい仕組みをこの社会につくりたい

—AIMSの事業を興したきっかけを教えてください。
仕事人間だった父が10年前に急性期の肺がんで亡くなったことです。悪くなる前に病気に気付く機会がこの社会にはあまりにも少ないのではないかと、憤りに近い感情を抱きました。開発中の電子瞳孔計をガソリンスタンドなど日常的に訪ねる場所に設置し、心身状態を可視化することで、健康状態の変化に気づきやすい仕組みを社会に作っていきたくと考えています。

—学生時代に印象に残っていることを教えてください。
高校時代は全国大会に出場するようなバレーボールの強豪チームでキャプテンでした。しかし3年生の時に自分たちの力量が見えてしまい、チームの将来を見越

して3年生のレギュラーメンバーと下級生のメンバーを入れ替える決断をしました。その後の同級生の姿を見て、「勝つための選択」はできたけれど「人の幸せのための選択」はできなかったと感じ、実業団や大学からのオファーもありましたが、人のポテンシャルを伸ばすための教育を勉強できる大学に進学しました。現在は会社を経営していますが、今でも先生になることが夢です。

—田村市の魅力についてどのように感じていますか。
東京と比べて圧倒的に星空と空気がきれいだと感じていて、夜になると星空を見上げながら犬の散歩を楽しんでいます。夏にはよく、社員みんなで仕事終わりに聖石温泉に入った後、温泉の隣にあるキャンプ場でバーベキューやキャンプファイヤーをして遊びました。気が向いたときに体を思い切り動かして遊べる場所も多いですね。

「大義」を持って仕事に向き合う。
そのことが何よりの幸せ

—ご自身をどのような人間だと感じていますか。
何かにチャレンジして、高みを目指して、気づいたらクリアしていて、でもまた蜃気楼のように目指したいものが出てきて…そんな人生ですね。子どもの頃から常に家から出たがっていたようで、1歳半で母の目を盗んで家を出て、車通りが多い道路の向こう側のスーパーで保護されたのだとか(笑)。幼いころから挑戦し続けていましたね。

—ご自身はどのような状態が「健幸」だと感じますか。
自分自身が「大義」を持って仕事に打ち込めて、家族を含めた周りの人が心身ともに健康な状態です。20代でアメリカや上海、台湾に会社を設立して成功を収めることもできましたが、生きている実感がなくなってしまいました。何のために仕事をするのかは人それぞれですが、私にとっての仕事をする意味は豊かな生活ではなく、大義を持って働き続けることにこそあります。

—川又さんが働く上での「大義」とは。
富の豊かさや社会から与えられた評価に関わらず、「自分らしい幸せ」が一人一人にある社会です。身体だけではなく、「幸せ」と感じる心も健康が伴わないと不調を起したり、病気になってしまったりします。「健康」「幸せ」この両方がそろって初めて、私たちは自分たちが思い描く人生を生きることができるとは思いませんか。

私の健幸チャージ
Aiバイク



会議と運動を両立

「時間ができたら何をしたいですか」と訊ねられても「仕事したい」と答えてしまいます。仕事中は時間軸を飛び越えてしまったのかと思うほど、早く時間が過ぎてしまいます。夢中で過ごす中でも運動を続けるために、Aiが自分に合った負荷を自動で調整してくれる「Aiバイク」をオンライン会議中にこいだり、姿勢矯正ベルトを付けたりしています。

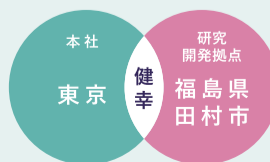
PROFILE

株式会社AIMS 代表取締役社長
川又 尋美さん



かわまた・ひろみ 1987年 福岡県生まれ。2011年に広告媒体の編集などを展開するLindoorsを設立後、2017年にAIMSを設立。2人の子供を持つ母親で、東京と田村市の二拠点居住。

エイムス
AIMSとは



Ai(人工知能)を利用して瞳孔からストレス値を測定し、健康状態を確認する「AiLive」の研究開発などを行うIT企業です。本社は東京都で、田村市に研究開発拠点の開設を進めています。企業理念は「よりよい未来を選ぶため、1人ひとりの健幸指標を世界へ届ける」。健康診断などの平均値ではなく、個人の健康状態を根拠とした体調の変化を伝えられるようなシステムを田村市から創出して参ります。

AiLive College

AI電子瞳孔計
コンディションチェック
ワークショップ「足湯編」



初めてのワークショップ開催でしたが、和やかな雰囲気で行うことが出来ました。※一部撮影時のみマスクを外しています。

田村市民に長年愛される憩いの場で
足湯のリラックス効果を計測

「足湯って本当にリラックス効果があるの?」—そんな疑問にAIMSが開発中のAI電子瞳孔計「AiLive(アイライブ)」でお答えするワークショップが、2022年1月22日、温浴施設のある船引総合福祉センター(田村市)で開かれました。今回は、同センターのお湯を張った足湯をご用意。足湯へ入る前後にAiLiveで瞳孔の動きを計測することで、ストレスの変化を確認していただきました。また、計測体験後の座談会では、計測してみた感想や今後の活用方法などについてご意見をいただきました。AIMSでは、こうした活動を通して健康を支える取り組みを福島の皆さんと一緒に進めていきたいと考えています。



ソーシャルディスタンスを保って参加しました!

ご参加いただいたのは、県中地域を中心にさまざまな分野で活躍する6人の皆様。お忙しい毎日をご過ごしているようですが…結果はいかに。

船引総合福祉センター

入浴設備や会議室がある田村市民の憩いの場です。「田村富士」とも呼ばれる片曾根山の麓にあり、昭和49年の開所当時は結婚式でも使われていたとか。



大浴場のお湯を足湯に使わせていただきました。



昭和レトロが感じられる照明や設備も魅力です。

01 | 足湯 & 測定会 足湯とストレスの関係性

●Ai電子瞳孔計「AiLive」とは?

AiLiveは脳と深くつながる瞳孔の動きを利用し、人間のストレス度を分析・可視化する装置です。双眼鏡のように装着して瞳にフラッシュを当てることによって、瞳孔が収縮してから元の大きさに戻るまでの時間や動きを計測します。このデータを基に、「緊張」「寝不足」などの傾向を見える化します。



開発中である「AiLive」のモックアップイメージです。

計測
約7秒!

瞳孔をスキャンで
ストレス度を
見える化!

●測定の流れ

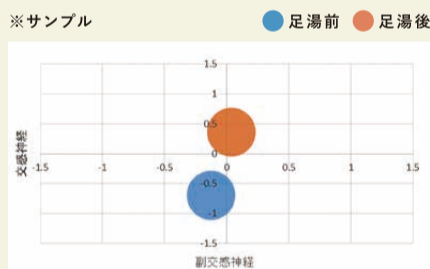
- 【1】装着・測定
双眼鏡のように装着。フラッシュにより瞳孔が収縮し、戻るまでの様子を読み取ります。
- 【2】アドバイス
波形データから読み取れる体調の傾向をAIMSの分析担当が伝えます。
- 【3】結果レポート
データを基に精神科医がより詳しく分析したレポートを後日お送りします。



今回のワークショップでは、AiLiveの計測後8分間ずつ約42°Cの足湯で温まっていたら、再び計測することで足湯前後の変化を確認しました。

結果レポートについて

横軸は「副交感神経」、縦軸は「交感神経」の機能状況を示します。横軸が0以上ならストレスがない状況、縦軸は数値が高いほど良くも悪くもストレスがかかっている状況と予想されます。このグラフではいずれも足湯後に数値が上昇し、ストレスが解消できているといえます。



参加者の声

一般社団法人Switch
久保田 健一様

寝不足を超えた疲れとの結果が自分ではストレスと感じませんが、常に何かを考えていて疲れていることが普通の状態。確かに体は休まっていなかったかもしれません。

おおはた屋
平野 泉様

リラックス効果を実感しました。睡眠の質が良くない実感があり、計測でもそれが表れました。足湯前後で足の感覚も違っていき、測定の結果も良くなりました。

天心ケアハイツ
健康運動指導士
平野 義則様

ストレスが少なく良い状態でした。足湯後は測定値がより良くなりました。リラックスしている時と緊張感がある時で、改善率に違いはあるのでしょうか。

ベリーズパーク郡山
城 清里仲様

足湯前後の変化が面白かったです。結果だけではなく、どのような傾向の人が似た結果になるかなどのフィードバックがあると、生活の改善に役にたつと思います。

田村市保健課
鎌田 洋一様

緊張が改善されたようでした。寝不足など特定の不調が見られた場合はそれぞれの専門家から助言が受けられるシステムがあると安心します。

田村市保健課
健康増進係
松崎 ひとみ様

寝不足気味との傾向が出ました。何をポイントにどのような分析をしているのか分かったら、今の自分の状態に対する理解が深まり改善につなげやすいと思いました。

●まとめ

足湯前は緊張感などがデータに表れた方もいましたが、足湯後にはほとんど全員に改善が見られました。ストレスや疲労に自覚症状がある方も、そうでない方もいっちゃったようです。知らず知らずのうちに積み重なっている体の負担を知ることが、「健康」な生活の実現につながるはずです。



02 | 参加者座談会 健康と「AiLive」の活用法を考える



—健康のために気を付けていることを教えてください。

城さん 郡山市でブルーベリー園を切り盛りしています。私にとってブルーベリーは体が元気になるパワーフルーツ。生のまま香りや甘さを楽しめるものを生産しています。ただ、一人で営農しており、子どもが3人いるので睡眠時間は不規則ですね。

平野泉さん 三春町の豆腐店で大豆を使って健康を支える仕事をしています。健康法は無調整豆乳を飲むこと。最近では健康のために豆乳を飲む方が増えていると実感しています。

鎌田さん サプリメントをいろいろ試していましたが、健康診断で内臓に負担が掛かっていることが分かり、やめてしまいました。今は何もしないことが健康なのかもしれないと感じています。

松崎さん 基本的にいつも元気で健康です。秘訣は野菜をたくさん食べていることかな。

平野義則さん 運動を習慣化して暴飲暴食をしないなど、一般的なことに気を付けています。

久保田さん 健康には全く気を使っていません。運動もしないし、寝た時に寝て、食べたいものを食べる生活です。40代が近づいているので気を付けたい、とは思っていますが、なかなか行動に移せません。

—実際に計測した感想や、今回のワークショップの改善点があれば教えてください。

城さん 測定で「緊張感が高い」との傾向が出ましたが、自分の中でどのように解釈すればいいの分かりませんでした。自分の健康の理想像はどのような状態で、ストレスが掛かりすぎるとどうなるのかまで分かったら、自分の健康に意識を向けやすくなると思います。



久保田さん 測定結果を視力やBMI値のように誰が見ても理解できるように数値化できると分かりやすいのではないのでしょうか。匂いや照明の明るさなど、自分に合ったストレス緩和法もアドバイスいただけると面白いかな。

松崎さん 気軽に計測を体験してもらおうという視点では、アロマオイルを使ったハンドマッサージなどがいいのではないのでしょうか。足湯だと時間が掛かって大変そうでした。

平野義則さん 足湯に入った直後は当然リラックスできていると思います。例えば30分後、1時間後にどうなっているのかも分ければ、リラックス法として取り入れやすくなると思います。血圧などほかの数値と照らし合わせても、見えてくるものがあるかもしれませんね。



—「AiLive」を利用した事業のアイデアがあれば、ぜひとも教えてください。

松崎さん 学校現場で子どものストレスを可視化できると良いですね。子どもは自分でストレスを訴えることができないし、親も気づきづらい部分です。また、田村市ではメンタルヘルス事業として市民向けの講座を開いていますので、その時一緒にできると、自分の状態を理解した上で学びを深めることができると思います。

城さん 助産師をしています。産後のお母さんのコンディションはそれぞれ異なります。どのぐらいストレスを抱えているのかが可視化できると支援の手を早期に打つことにつながるのではないのでしょうか。例えばお子さんの定期検診で計測して、ストレス値の高い人をフォローなどの行政サービスにも活用できると思います。また、美味しいブルーベリーには癒しの効果があると思っています。食べる前後で数値の変化があるかどうかの実験にはぜひ参加してみたいです!

ワークショップは大成功!



今回のワークショップでは、研究開発拠点を置く福島の皆様に初めて「AiLive」をお使いいただきました。今回頂いたご意見を参考に、今後も福島の皆様をはじめ、多くの方に「健康」を届ける活動を続けて参ります。

AIMSスタッフ一同